

## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フジオフードシステム  
 コード番号 2752 URL <http://www.fujio-food.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 佐藤 一郎

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

TEL 06-6882-0851

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	19,310	14.1	1,524	12.3	1,491	17.6	829	39.3
24年12月期第3四半期	16,917	8.8	1,357	63.7	1,267	73.8	595	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 851百万円 (46.4%) 24年12月期第3四半期 581百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	17,458.41	15,247.38
24年12月期第3四半期	12,993.72	12,008.40

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	14,885	4,619	30.9	94,482.62
24年12月期	14,227	3,445	24.0	74,490.24

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 4,598百万円 24年12月期 3,419百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	5,000.00	5,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,700	12.5	2,050	13.5	1,950	15.8	930	31.0	19,108.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	48,669 株	24年12月期	45,909 株
25年12月期3Q	— 株	24年12月期	— 株
25年12月期3Q	47,496 株	24年12月期3Q	45,797 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、円高の是正や株高の進行など、ここ数年の厳しい経済環境からは緩やかながらにも回復基調となり、高額商品を中心として消費マインドの改善が見られました。

一方では、円安に伴う原材料価格の上昇や、平成26年春の消費増税による個人消費の低迷による景気の腰折れリスクも懸念され、国内外を取り巻く経済環境は依然として不透明な状況で推移いたしました。

外食産業におきましては、個人消費における生活防衛意識や節約志向は依然として強く、又、円安の影響による輸入食材価格や原材料価格の上昇など厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、「大衆というカテゴリーで日本一の外食企業となる」という確固たる目標のもと、当第3四半期連結累計期間におきましても既存店事業の全体的な底上げ、および販促活動の強化に注力いたしました。「まいどおおきに食堂」を中心として「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「浪花麺乃庄 つるまる」をはじめとする全ブランドの増収増益に向けて全社一丸となって取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高193億10百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益15億24百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益14億91百万円（前年同期比17.6%増）と増収増益となりました。一方、特別損失64百万円を計上したため、四半期純利益は8億29百万円（前年同期比39.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### <直営事業>

直営事業につきましては、国内および海外において、「まいどおおきに食堂」、「神楽食堂 串家物語」、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」、「浪花麺乃庄 つるまる」等の事業展開を行っております。

当社直営事業における新規出店の状況に関しましては、当第3四半期連結累計期間中に「まいどおおきに食堂」6店舗、「神楽食堂 串家物語」9店舗、「手作り居酒屋 かつぼうぎ」4店舗、「浪花麺乃庄 つるまる」9店舗、その他のブランドとして、健康を食べて頂くというコンセプトの「さち福や」等11店舗、計39店舗を出店いたしました。

以上の結果直営事業の売上高は181億54百万円（前年同期比15.1%増）、セグメント利益は21億7百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

#### <FC事業>

FC事業につきましては、当社トレーナーが各加盟店に臨店して行う調理指導の他、店長会議、トレーナー会議等を通じて直営店における成功事例の共有を進めることにより店舗の収益力強化に努めております。中でも「まいどおおきに食堂」につきましては、直営店と同様に改装を漸次進めることにより更なる集客力向上を図っております。

今後も加盟企業との親密なコミュニケーションを図りながら問題点の洗い出し・解消を図り、継続的な収益力の向上を目指してまいります。

以上の結果、FC事業の売上高は11億55百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益は7億52百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

当社グループの平成25年9月末時点の店舗数は683店舗（直営店（国内）334店舗、直営店（海外）6店舗、FC店（国内）342店舗、FC店（海外）1店舗）となりました。ブランド別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店 (国内)	直営店 (海外)	FC店 (国内)	FC店 (海外)	合計
まいどおおきに食堂	128	4	308	—	440
神楽食堂 串家物語	56	—	12	—	68
手作り居酒屋 かつぼうぎ	35	—	17	—	52
浪花麺乃庄 つるまる	49	—	4	1	54
その他	66	2	1	—	69
合計	334	6	342	1	683

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は6億57百万円増加し、148億85百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から14億20百万円減少し、固定資産は20億92百万円増加しております。流動資産が減少した主な理由は、本社社屋の土地購入及び新規出店に伴う現金及び預金の減少13億27百万円によるものであります。固定資産が増加した主な理由は本社社屋の土地購入及び新規出店に伴う有形固定資産の増加15億94百万円、敷金及び保証金の増加1億88百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して5億16百万円減少し、102億65百万円となりました。これは主に借入の実行による借入金の増加額が6億77百万円、転換社債型新株予約権付社債の株式への転換4億99百万円及び社債の償還による減少額6億60百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して11億74百万円増加し、46億19百万円となりました。これは主に転換社債型新株予約権付社債の株式への転換4億99百万円、四半期純利益の計上8億29百万円及び配当金の支払い1億83百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の通期の業績予測につきましては、平成25年2月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は、軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,130,161	2,802,751
売掛金	303,319	221,265
たな卸資産	94,301	87,080
繰延税金資産	85,404	85,404
その他	921,346	872,633
貸倒引当金	△48,408	△3,579
流動資産合計	5,486,125	4,065,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,056,061	8,051,171
減価償却累計額	△3,114,718	△3,423,551
減損損失累計額	△256,681	△259,618
建物及び構築物(純額)	3,684,661	4,368,002
工具、器具及び備品	2,405,258	2,922,137
減価償却累計額	△1,836,828	△2,064,130
減損損失累計額	△17,801	△21,053
工具、器具及び備品(純額)	550,628	836,952
土地	111,221	111,221
建設仮勘定	104,660	766,773
その他	257,970	254,300
減価償却累計額	△118,192	△152,059
その他(純額)	139,777	102,241
有形固定資産合計	4,590,949	6,185,191
無形固定資産	44,218	78,036
投資その他の資産		
投資有価証券	211,279	216,517
関係会社株式	179,314	456,750
繰延税金資産	308,043	304,319
敷金及び保証金	3,090,711	3,279,202
その他	321,368	351,842
貸倒引当金	△51,605	△84,739
投資その他の資産合計	4,059,111	4,523,893
固定資産合計	8,694,279	10,787,120
繰延資産	46,971	32,374
資産合計	14,227,376	14,885,050

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	968,223	1,009,281
1年内返済予定の長期借入金	1,232,909	1,215,009
未払金	851,484	929,610
未払法人税等	382,994	369,238
賞与引当金	57,676	36,649
資産除去債務	12,780	15,333
訴訟損失引当金	10,000	10,000
その他	1,384,498	1,327,476
流動負債合計	4,900,567	4,912,598
固定負債		
社債	2,949,999	1,789,999
長期借入金	1,729,342	2,425,027
リース債務	114,124	67,488
繰延税金負債	3,641	7,033
資産除去債務	588,739	650,702
その他	495,272	412,339
固定負債合計	5,881,120	5,352,590
負債合計	10,781,688	10,265,189
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,200,559	1,456,350
資本剰余金	1,080,305	1,336,096
利益剰余金	1,198,680	1,844,257
株主資本合計	3,479,544	4,636,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△40,548	△34,018
為替換算調整勘定	△19,224	△4,311
その他の包括利益累計額合計	△59,772	△38,329
新株予約権	8,626	12,379
少数株主持分	17,288	9,106
純資産合計	3,445,687	4,619,860
負債純資産合計	14,227,376	14,885,050

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	16,917,700	19,310,436
売上原価	5,571,319	6,408,338
売上総利益	11,346,380	12,902,098
販売費及び一般管理費	9,988,600	11,377,172
営業利益	1,357,780	1,524,926
営業外収益		
受取利息	4,663	3,592
受取家賃	85,371	88,182
持分法による投資利益	330	16,534
その他	21,456	27,221
営業外収益合計	111,822	135,531
営業外費用		
支払利息	57,178	41,629
社債利息	24,923	18,829
貸貸収入原価	86,239	89,120
その他	33,832	19,793
営業外費用合計	202,173	169,371
経常利益	1,267,428	1,491,086
特別利益		
受取和解金	47,087	—
受取保険金	5,675	—
負ののれん発生益	—	7,538
その他	221	2,824
特別利益合計	52,984	10,363
特別損失		
店舗解約損	78,406	17,568
固定資産除却損	66,778	15,452
減損損失	64,316	30,687
固定資産売却損	14,407	—
その他	2,928	402
特別損失合計	226,837	64,111
税金等調整前四半期純利益	1,093,575	1,437,338
法人税等	490,876	606,877
少数株主損益調整前四半期純利益	602,699	830,461
少数株主利益	7,625	1,248
四半期純利益	595,073	829,213



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	602,699	830,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,936	6,529
為替換算調整勘定	△1,864	15,745
持分法適用会社に対する持分相当額	△225	△1,115
その他の包括利益合計	△21,026	21,160
四半期包括利益	581,673	851,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	574,291	850,656
少数株主に係る四半期包括利益	7,381	965

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成25年4月24日に、転換社債型新株予約権付社債の一部が行使されました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が249,754千円、資本準備金が249,754千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,456,350千円、資本準備金が1,336,096千円となっております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,771,970	1,145,729	16,917,700	—	16,917,700
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	15,771,970	1,145,729	16,917,700	—	16,917,700
セグメント利益	1,815,837	752,417	2,568,254	△1,210,474	1,357,780

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,210,474千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては64,316千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	直営事業	FC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,154,528	1,155,908	19,310,436	—	19,310,436
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	18,154,528	1,155,908	19,310,436	—	19,310,436
セグメント利益	2,107,053	752,937	2,859,990	△1,335,064	1,524,926

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,335,064千円は、各報告セグメントに配分できない全社費用であります。全社費用の主なものは、提出会社の管理部門等の経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「直営事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結累計期間に営業活動から生ずる損益が著しく低下した店舗等について、当該店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては30,687千円であります。